

「FairCast®-子ども安全連絡網」が 東京書籍(株)の『ビジュアルワイド 社会科資料集 5年』に 掲載されました。

情報
特集

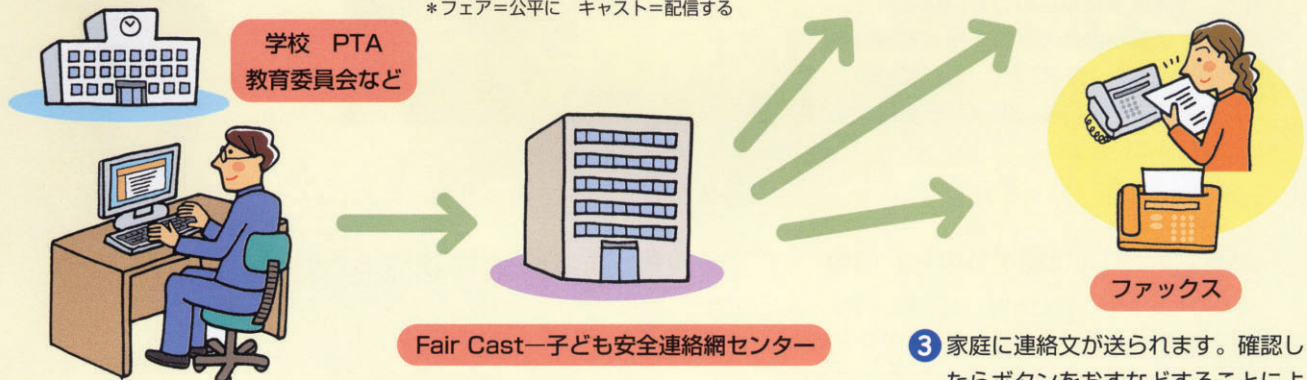
生活を守る情報システム

情報化が進んだ今日では、わたしたちの生活を守るためにもコンピューターやネットワークを使った情報システムが使われています。わたしたちの学校生活に身近な「学校連絡網システム」と、地震の被害をへらすのに役立つ「緊急地震速報」の2つを調べてみましょう。

子どもを守る「学校連絡網システム」

学校やPTAなどからの連絡を家庭に伝えるとき、これまでは、電話を使ってその内容を次々に伝えて行く電話連絡網が使われてきましたが、時間がかかったり、内容が正確に伝わらないなどの問題がありました。そこで、「Fair Cast-子ども安全連絡網」がつけられました。このシステムでは、学校やPTAから伝えたい内容をメール・電話・ファックスにいっせいに連絡することができます。相手が情報を受け取ったことも確認できるので、正確ですばい情報の受けわたしが可能になりました。

*フェア=公平に キャスト=配信する



1 連絡文をつくって、送る相手を選び、送信ボタンをおす。

2 連絡文をそれぞれの家庭が選んだ手段を使って送る。

3 家庭に連絡文が送られます。確認したらボタンをおすなどすることにより、情報を受け取ったことは送り手(学校など)に伝わる。



このシステムをつくった
会社の住田さんのお話

PTAのクラス役員になった時、学校からの連絡を全家庭に伝えるのにもとても苦労しました。そこで、メール・電話(音声)・ファックスのどれでもいいので、連絡のつくところを教えてもらって連絡するようしたら、簡単に全員に伝えることができ便利になった上、とても喜ばれました。同じように苦労している他の学校でも使ってもらいたいと思い、会社に提案してこのくみができ上がりました。

連絡内容作成画面と受信されたメール パソコンで連絡文をつくって、送り先を学年やクラスなどのグループで選んで送信すると、メールやファックスでは連絡文がそのまま送られ、電話ではコンピューターが文章を人間の声に近い音声に変かんします。